

新型コロナで3・4・5月 小・中学校が休校中でも 学習支援ツールの個別配信が成果に!

みんなの学習クラブ
 「学習支援ツール」
 の全小・中学生に
 個別配信を要望
 → 実現!

学ぶ力・生きる力 向上支援員にパソコンを支給して学力向上を!



教育現場から学校と一体的な生徒指導をするためにも学ぶ力・生きる力向上支援員に各校**1人1台、パソコン支給**してほしいと要望がありました。早速、教育こども委員会にて、その重要性を説明し、小学校162校、中学校81校にパソコン支給の予算要求をしました。
【学校支援部長】は「予算の中で何とか対応していきたい」との前向き答弁があり → 実現の方向へ!

さらに「学ぶ力・生きる力向上支援員」をパソコンルームで生徒指導する事を職務内容に位置付けることを要望 → 実現!

2023年度から部活動はどうなるの?

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革 概要
 部活動の意義と課題
 2023 (R5) 2024 (R6) ~
 部活動改革の全国展開
 紙切れ一枚で理解しろと?

生徒や保護者には **衝撃的な改革** ~
「部活動は必ずしも教師が担う必要のない業務」 (文部科学省)
 文科省は学校園の働き方改革への取り組みの方針として
 ● **教師の本務(本来の任務)は授業である**
 ✓ 部活動の設置・運営は法令上の義務ではなく、必ずしも教師が担う必要のない業務
 ✓ 将来的に部活動を学校単位から**地域単位**にし、**学校以外が担う**ことも積極的に進めるべき
 ✓ 長時間の部活動時間削減に伴い登下校時間の見直し

部活動を教員主導から切り離す取り組みがあり
 → 地域や保護者へどのように理解を求めるとかを伺った!
【平野章三】 本市として間近に迫っている部活動における働き方改革について、具体的にどのように対応するのか?
【教育長】 「休日の部活動については、国の動向を注視しながら検討したい」「学校園・保護者に対しては**広報紙**等を通じて状況をお知らせします」

え~! もう目前に迫ってますよ~! **【今まで学校がやってくれて当たり前】**と思われていた学校環境でしたので、今後相当踏み込んだ**改革**がなされることに、**地域や保護者の方々**にどれ程ご理解が頂けるかが最大の課題なのに! 未だにこの問題の重さをわかっていないことに“がっくり”~

小学校に広がっている学級崩壊とそれに伴う教師の休職

深刻! ~ どうする教育委員会事務局 ~
 教育こども委員会にて**学級崩壊**の学級数と教員の休職数を質問したところ、小学校で休職数431名、内41名が療養していると判明。
【教育長の答弁】 では「ご指摘の崩壊というような学級がどれくらいあるのかしっかり**把握し、早急に手立て**を講ずる必要があると思っています」



学級崩壊

小学校で41名の教師が休職療養中

【平野章三】 は「学級崩壊があることを悲観するのではなく、現場とともに教育委員会事務局が児童・生徒・保護者の視点で、如何に早急に対処をするかが重要」と申し上げたところ ~ 当局の**“前向きな意思”**を確認出来ました。
【平野章三 令和2年12月本会議にて質問・提案】
 「学級崩壊や学力向上の対応に**小・中学校間の教員人事異動を導入しては**」と提案
【教育長の答弁】 「今回の教職員人事異動方針で小・中学校間の校種間連携を積極的に推進するとはっきりと基本方針に掲げております」「**小・中学校間の校種間異動を進めていく必要がある**」と明確に前向きな答弁をされました。



平野は安心・安全な街づくりから進めて頂くよう 神戸市に申し入れしています!



ハトの鳥



通路用シェルタ改装へ!



支柱36本のライトアップを提案

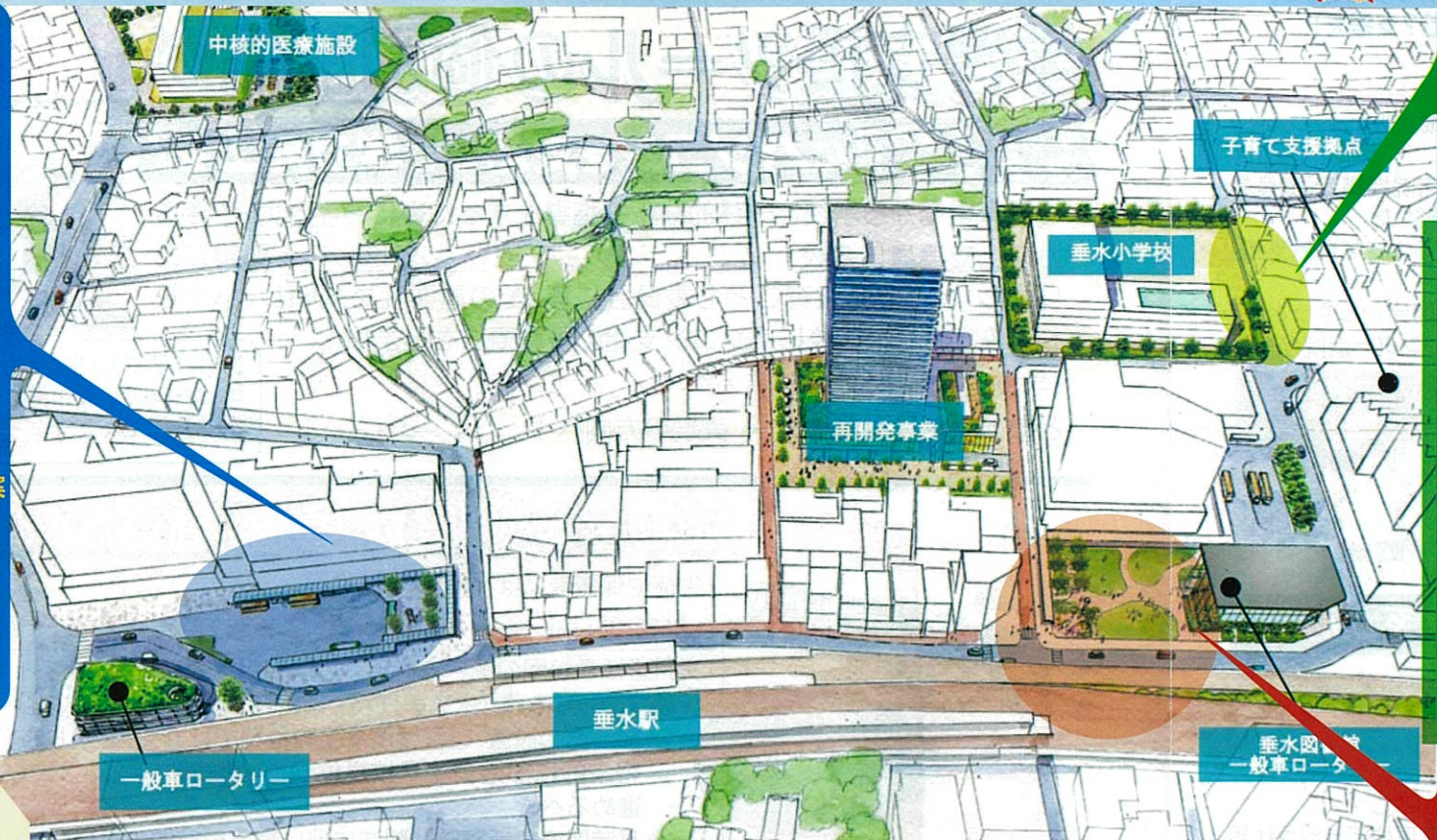


元町駅の交番は駅前であり分りやすくレトロな外観で注目され街の安心につながっている。

残念ながら垂水駅前広場の治安については決して良いとは言えず、地域の方からも度々不安の声を聞いておりました。神戸市の関係局も状況は把握していたものの、具体的な対応策を出せないまま駅前整備を進めようとしていました。そこで、平野は

- 西側→①防犯カメラの設置
- ②通路シェルタ改装
- 東側→③荷捌き用地整備
- ④東口信号前滞留解消

を提案しました。さらに「駅前交番の設置」も検討していただきたく本会議にて提案しました。



垂水小学校東側の南行き一方通行の狭い道路



歩行者に危険です!

「安全性のある歩道を確保して～」と、昨年11月地元より要望を受け、直ちに教育委員会事務局学校環境整備課担当者と協議したところ、垂水小学校の校舎等の建て替えによる開発事業で約65～70cm幅の用地を道路として提供できるとの報告。その結果を建設局と協議して歩道幅員拡幅と安全対策を要望しました。(工事完了予定令和8年3月)ただ、建て替え完了に近い時期(6～7年頃)になるかもしれませんが、ご報告申し上げます。



信号付近滞留解消へ!

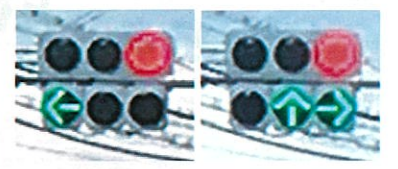
J R 垂水駅東口北側の信号待ちの滞留場所が狭く、特に通勤帰宅時間は人で溢れ返り危険な状況。そこで車道を少し北側に振って、滞留場所を確保し改善を求め、危険解消へ!

2014年産学交流施設を提案 ～来春神戸阪急ビルに

今では当たり前となったレンタルオフィスも、当時(2013年)日本ではあまり周知されていませんでしたが、アメリカでは企業間で自由に交流できるレンタルオフィスが成功しているとの情報もあり、平野はいち早く医療産業都市神戸に医師や研究者、企業などがお互いに【交流・連携できる会議室や事務所機能】が整った施設を求め、27年度予算本会議で【市長に直接提案】したのであります。

それがやっとな実現へ!

歩車分離式信号でより安全に!



星陵台中学校前交差点1車線で「さん天星陵台店」中間付近から高丸インター姫路方面出入口交差点付近まで2車線に改良整備しました。

垂水商大線・高丸インター交差点付近は慢性的な渋滞があり、緊急車両にも支障が出るほどでした。その上、学園都市方面への左折直後の横断歩道でも度々、人身事故が発生し、地元の方からも要望を受け、その対策と交差点内の街灯増設も合わせて提案→実現工事完了後通ってみると、なんと!歩車分離式信号機に～!垂水建設局と、垂水警察の見事な連携で歩行者はより安全に!!



救急車両もスムーズな通行が可能に!

このままで大丈夫?三宮再整備 JR三ノ宮駅ビル再整備計画白紙に! 2020年10月30日発表

検証すべき神戸市・都市局の大失態! 重要施策であった地下鉄西神・山手線と 阪急の相互直通運転決裂

～～～ この相互直通が合意されていれば ～～～

阪急電鉄の大阪直路線により地下鉄西神・山手線の沿線周辺開発や人口減少対策など、阪急ブランド魅力が大きく押し上げられたのではと思われます。

◆しかし、この【交渉が決裂】したことは(調整は事前に交渉前に済ませた上で交渉開始を発表すべき)官民連携の影響を持つ【阪急電鉄の支援を失った】ことになり、今後神戸市独自予算での再整備を迫られるでしょう。

◆さらに都市局は《JR西日本との連携》がまったくとれてこなかった上、JR三宮駅ビル《建て替え計画の1年以上の遅れを》発表。その直後に計画の白紙撤回の報道がなされ、神戸市は民間活力の見通しのないまま再整備事業に投資を続けることとなります。

★結局、神戸市の全体像を見据えた企画調整局や鉄道事業の運営と技術面を受け持つ交通局との一体的な体制がなく、都心・三宮再整備を仕切っている【都市局だけで交渉】してきたことで、未だに神戸市の将来像が見えてこないのであります～

☆この体制では、神戸の街の魅力は打ち出せないままなので
=== 思い切って組織体制を変えるべきでしょう ===

本多間中仮設校舎～過密問題解消

本多間中仮設校舎建設(テニスコート)に伴い、本多間小の運動場を活用。R3年4月より本多間小と多間南小を統合。R4年度内多間南小学校の校舎改修(多間南小学校を長寿命化改修)新校舎多間南小学校に移転。



きれいな海から豊かな海への要望が実現!

近年、下水が高度処理になり、海の水質は良くなったのですが、海水の栄養が失われ、漁場が育たず漁獲量や海苔の成長に大きな影響が出ていました。→改善実現!

さらに海水混合を前倒しへ!
県条例の規制緩和により排出する栄養塩を増やして放流
※海水をくみ上げて下水と海水を1:1の比率で放流





その予算 ちょっと待った～ 必要なところに予算配分を!

障がいをもつお子さんたちの
作業療法室 2500万円
改修補正予算を実現!



西部療育センターでは、作業療法(OT)を利用するお子さんは、なんと1年～1年半待ち! その上、正規職員不在のため診療の継続性もなく、障がいをもつお子さんのご家族から「何とかして欲しい～」と相談があり、「作業療法室増設」「作業療法士(OT)の正規職員の配置」を長年要望してきました。なのに～またしても今年の予算査定はゼロ回答でした。そこで平野は「神戸市は、人口対策として街灯予算に30億円!!すでに設置してあるものまでジャンジャン付け替えているが、予算の根拠となる設置場所や数は?聞いても答えられない。そんな予算あります?30億円も!」と委員会で訴えました。すると、予算委員会後に(異例ともいえる)作業療法室改修補正予算2,500万円が計上実現されました。決算委員会においても「正規職員の作業療法士を1人採用していただきたい!」と強く訴えたので、来年度予算に盛り込まれることを期待しているところです。

世界が注目している「iPS細胞」実用化の支援

2019年9月30日決算特別委員会 = 実用化に繋がる支援を!
2020年9月29日本会議 = 世界的に注目される今、支援を!
2020年10月1日決算特別委員会 = 何故拒む?支援を!

平野の三度の要望に対し、医療産業本部は神戸アイセンターiPS細胞関連の実用化に→「資金支援しない」と答弁(その直後iPS視細胞世界初の移植手術成功のニュースが!)
何故それほど支援を拒むのか?の質問に「医療産業都市において、理化学研究所、市民病院機構、医療産業都市推進機構で調整し、アイセンター病院を実現した。病院開設そのものが再生医療の実用化に対する大きな貢献支援」との理解できない答弁

医療産業都市を推進して20年が過ぎ、研究・開発からやっと今、実用化に向けて進め始めている中で神戸アイセンター病院が再生医療分野で世界的評価とともに最も実用化への可能性が近いのに～?!
それでも資金支援しないで調整役だけの方針であれば、実用化して世界的に高い評価がされた時に医療産業都市推進機構が関わったと言えないですからね～!



神戸アイセンター 記者会見

職員の能力に応じた給与体系が必要

人事評価制度について2016年予算本会議で神戸市長に質問
平野「職員のモチベーションの向上は「能力に応じた給与体系」が必要、給与格差を大幅に広げるべきと考える」

神戸市長

「ただ単に評価して給与に反映させなくても、意欲的に新しい提言を頂くような仕組み、職員自身が様々に見聞を広めてもらう仕組みなど考えていかなければならない」と当時は消極的発言でした。ところがこの度2020年11月にやっと人事給与制度の見直しをすることに!

◇ 今回の見直しは「頑張る職員が真に報われる人事給与制度としての趣旨である」「職員が能力を最大限に発揮できる環境づくり」「これからの市政を担う将来有望な人材確保」内容的にはもっと大胆な制度改革をすべきとも思いましたが… 2016年の平野提案にすぐ対応していればもっと早く「魅力ある神戸」に向けて、素晴らしいアイデアなどが若手職員よりの提案として出てきていたかもしれませんね。



医療産業都市＝神戸として 介護分野でも事業推進を!

予算特別委員会では前向き答弁も～

昨年の予算市会において「高度な専門医療機関(保健福祉局)と企業(企画調整局・医療産業本部)が連携していくために、連携窓口を設置すべき!と申し入れ、それが実現したことは非常に評価しています。さらに今後は介護分野においても、企画調整局と保健福祉局がより一層連携しながら事業推進すべきと「介護産業の対外的な受け皿として窓口設置」を要望したところ
医療産業本部長 「コロナの影響で介護施設におけるロボットに対するニーズ等も増えてきているのも事実、来年度の窓口設置に向けて検討したい」と前向きな答弁を頂きました!

介護事業は働く環境や家庭向けにも介護機器などを活用した負担軽減を図る観点から改善に取り組んでいます。



厚生省も令和3年度介護報酬改定に向けて、腰痛予防などにノーリフティングケアで効果を挙げている取組に対して介護保険加算の審議を行っています。

ノーリフティングケア=介護する側・される側双方において安全で安心な、持ち上げない・抱え上げない・ひきずらないケア。そのノーリフティングケアに関する団体として、神戸市内に拠点を構える「一般社団法人日本ノーリフト協会」が国内外の企業と先進的な研究を行なっています。

【平野 章三 R2.12本会議にて質問・提案】

「神戸市はノーリフティングケアの関連団体と連携して、介護家庭や医療・介護施設、介護機器メーカーとともにセミナーなどを取り組んで頂きたい」

【副市長】

「神戸市内に拠点をもち活動している一般社団法人日本ノーリフト協会としっかり連携して研修などしていくことが大事だと思っています」と答弁



厳しいガイドラインの中次々ライブ開催

緊急事態宣言後、未だに事業が成り立たないロックライブ演奏! 明るい兆しも見通せない程深刻な中、9/19に第1回Battlede eggコンテスト優勝バンド「VINO」が結成10周年ライブを、10/10,11に「GR8 FEST. AT OSAKA-JO HALL ロックフェス」があり神戸の超人気バンド「Fear, and Loathing in Las Vegas」も出演、そして11/21,22に「KOBE 太陽と虎」が10周年記念ライブを開催! ライブ事業にも明るい見通しと思ったのも束の間「第3波の感染拡大」で暗い影を落とすのではと危惧。まだまだ先を見通せないエンターテインメント業界や多くの事業者こそ、神戸市は本気で支援すべきでしょう!!



ついに神戸港にロープウェイ検討か!



当時、副市長は平野の提案を十分な検討もせず〜結局批判と全否定!

2017年2月24日
本会議



平野 章三はロープウェイ・ゴンドラを“動く観光施設”として2017年予算市会本会議で提案した結果、神戸市は2020年度ウォーターフロントに回遊性向上、アクセス強化として民設民営を前提とし、ロープウェイ等を含めた多様な移動手段による調査・検討の着手に入った。

神戸に動く観光施設としてロープウェイ 罎・ゴンドラが導入されれば

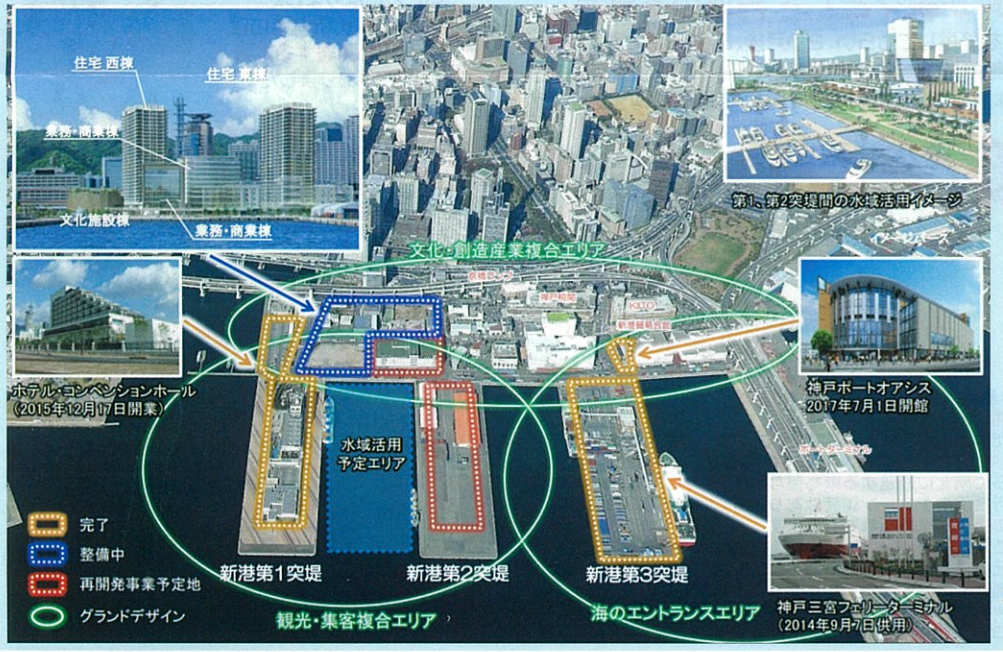
〜新たな神戸の街のシンボル!として期待したい!!〜



第7号
平成29年3月30日発行

第9号
平成31年1月1日発行

実現



西部療育センター作業療法士の正規職員が決定

昨年、西部療育センターの作業療法室改修要望に2,500万円の補正予算が実現し、令和3年度予算に作業療法士(OT)の会計年度任用職員が予算化され、結果、西部療育センターに作業療法士・正規職員が配置されることが決定しました! 要望が実現したことにより“感慨深いおもい”でいっぱいです。

提案してきた介護産業推進が実現しました!

平野 章三は以前より、神戸医療産業都市に介護事業展開、介護産業の推進を提案してまいりました。その結果、ノーリフティングケアを活用した介護産業展開をスタートすることになりました!

まずは本年3月【神戸市主催】により介護ロボット等、機器の活用紹介などを実施し、企業・介護現場の双方の理解を深めていくWebセミナーが開催されました。

さらに令和3年度の神戸市は「介護ロボット等開発・導入促進事業」として、介護ロボットやICT機器等を体験導入する機会を提供し業務の効率化や職員の負担軽減に向けた取り組みを示しました。そして平野が介護機器メーカーと介護事業者双方の相談窓口を設置するよう求めてきたことが実現しました!

R2.12.8 本会議
ノーリフティングケアの活動団体である一般社団法人ノーリフト協会は神戸市内に拠点をもって活動しており、こういったところと連携し、介護事業者向けの研修会、市民向けのセミナーなどしっかり取組みを進めていきたい。

神戸の魅力を一フレーズでいうと…

昨年末(2020年12月)の本会議で、神戸の魅力を一フレーズで言うとかかと質問したが、副市長はワンフレーズですねと言いながら【2分10秒間】もかけて延々と答弁〜つまり核となるものがないのでしょう。

この度 2021年2月26日本会議にて平野 章三 質問
神戸市の三宮再整備事業としてJR三ノ宮駅跡地でのにぎわい施設などが〜重要な節目のチャンスと受け止め、JR西日本と協調しながら一体的な協議をすべく!と申し入れました。

JR西日本はJR三ノ宮駅跡地に期間限定のイベント広場を

「JR西日本は2020年10月30日に「三ノ宮駅ビルの建て替え計画白紙」と発表した。その後、暫定活用として、跡地にイベント広場を「ストリート・テーブル」としてライブステージや飲食の屋台などが設営されました。2015年本会議で平野も、JR三ノ宮駅南側の幹線道路上空に超巨大ペDESTリアンデッキを設置し、連日楽しめる「野外ステージ」「アーケード」「屋台」などを提案しました。まさにJRが求めているのも駅周辺の一体的な賑わいのある魅力的な街づくりでしょう。この度の予算市会(R3.3.4)で都市局はやっと「ストリート・テーブル」と「クロススクエア」を一体的な運営に?と答弁 いよいよ平野提案が生きてきました!



やっと! 平野提案が始動!!

三宮に水路構想目的は?

神戸市は六甲山系の湧き水を新神戸駅〜フラワーロード〜三宮中心部まで人工水路整備を検討すると報道が。フラワーロード北行き一車線を水路用地として確保し「都心部で涼感を演出」したり「初期消火用水としての役割」も〜。奇抜なアイデアは評価します。ただ広すぎる道路幅と交通量の多いフラワーロードに人工的な水路で潤いのある景観を生み出せるの!?人工水路という大掛かりな整備の費用対効果は!?
当然、神戸の魅力アップとなるプロジェクトと一体的に示す必要があるでしょう!!!
つまり都市局が事業推進している【都心・三宮再整備】これ程の大プロジェクトにもかかわらず、将来見通しが〜未だに見えてこないのではありません。
未だに神戸市都市局は都心・三宮再整備で何をしたいのか示せていないだけに〜思いつきだけでプロジェクトを整備しないよう申し上げます。

実現 コロナ時代、厳しい環境の中、〜要望続けやっと実現! ライブイベント等 アーティスト活動等に支援が

神戸のアーティストの活動機会の創出 (70,500千円)
神戸のアーティストが市内ホールで行う公演の有料WEB配信を支援
神戸のアーティストが文化芸術活動を行う際の会場費を支援
神戸のアーティストを起用したまちなかでのイベントの開催を支援



速報 60億円のコンピュータシステム 不具合に学校は大混乱!!

何の責任もとらない～事業者(NTT西日本)と教育委員会事務局とは？
小・中学校約7,000人全教職員→生徒・保護者に押し付けた負担は？

経緯：学校が使用するパソコンやネットワーク等の
基盤サービス(通称KIIFキープ)5年毎に再構築 H27～R2.12 KIIF2(NEC)
R3.1～ KIIF3(NTT西日本)
令和3年1月から稼働するはずのKIIF3がシステム不具合で学校現場は大混乱に!

平野 章三 令和3年2月26日本会議にてこの問題を取り上げ質問!

【教育長答弁】「昨年12月末の移行時にシステム上不具合がいくつか発生し、学校現場の一部混乱が生じたこと承知しております」
「今、GIGAスクール構想への対応も重なり、学校現場の負担感が大きくなっておりますので、出来るだけ業務に支障が生じないように丁寧に対応してまいります」～と不手際は認めたものの「大混乱という状況では決してない」と聞いている
「責任云々というような事態では全くないという認識でございます」

=== 教育委員会事務局はNTTも含めて【自ら責任なし】と判断!?
問題の飛び火を回避したかったのでしょうか ===

ただ、実際に学校現場は大混乱したのです!現場の負担は生徒や保護者へも影響しかねません。教育委員会事務局はもっと現場に寄り添った対応を!!

各学校の教職員から怒りの声が続々と! → 再度の不具合

結局1月、2月は元の事業者(NTT)にシステム(KIIF2)を提供してもらい、2か月後、3月1日より再導入されたが、またしても不具合。小・中学校の教育現場ではまたまた**混乱**に!!
教育委員会事務局は学校現場の混乱に丁寧な説明と業務の支障に対して早急に対応すべき!

支援員にも パソコン支給が!

昨年、学ぶ力・生きる力向上支援員にも1人1台パソコン支給を要望!GIGAスクール構想で児童・生徒に1人1台支給となったため、コンピュータールのパソコンを提供できることになり**要望実現**しました!



教員の小・中学校間 異動実現へ

小学校・中学校間での教師の校種間異動の推進と採用時に小・中学の**複数免許状所有者に加点するなどの優遇制度**を提案しました。結果、小・中学校の校種間異動をモデル的に**実現**することになりました。複数免許状所有者には採用時に**優遇する方針**の報告もありました!



予算を使い切らぬためとはいえず? もう街灯増設いい加減にやめて

神戸市は当初計画で街灯増設事業に30.6億円? その上、積算ミスでさらに街灯補正に22.4億円!! 当然ながら、平野はその補正予算は否決しました。ところが、いとも簡単に!行財政は予算計上 いとも簡単に!市議会は承認してしまった?

【合計53億円の事業規模】

やっと期待しているワクチン接種が始まったこの時期! コロナ対策と街灯のどちらを優先するの? せめて市民の皆さんとともにワクチン接種による経済回復を目指す来春の時期ぐらまで延期できなかったのか!



垂水駅東口
JR垂水駅東口の南北道路は幅員が狭いので午前7時より9時まで車両は通行禁止となっています。ただ、朝の時間帯だけでなく、やはり夕方にもこの道路を保育園児・児童・生徒、高齢者など大勢の方が利用され、歩行者と出迎えの待機車両、さらに南北に通る車も重なって、大混雑になり危険なことも~! 歩行者用のグリーン舗装はありますが、地元関係者からは、より安心・安全の確保が求められています。そこで、混雑時間帯の車両通行や送迎の待機車両などの問題について、地元自治会は規制なども含めた「アンケート調査」をしなが神戸市、垂水警察署とともに協議していくことになりました! (*将来的には垂水駅前東西にロータリーを整備しますので、送迎車はロータリーを活用していただけます。)



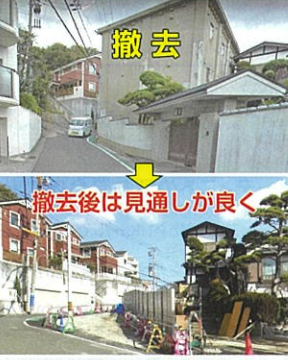
垂水中央東地区再開発事業
垂水中央東地区再開発は市街地再開発組合のコンサルタントにより事業が進められます。
<令和3年度>
前半 実施設計、権利変換計画作成 (7月~8月頃権利変換に動き始めるか?)
後半 権利変換計画認可
除却工事 (9月頃から解体が始まるか?)
文化財調査 (調査の内容次第でR4までかかる?)
<令和4年度> 文化財調査、建築工事着手
<令和6年度> 建築工事完了
スケジュールは予定であり、()は予測です。

塩屋町4丁目

長年、危険な難所の解消に 地元・有志と道路用地協力者 建設局が単独整備する英断

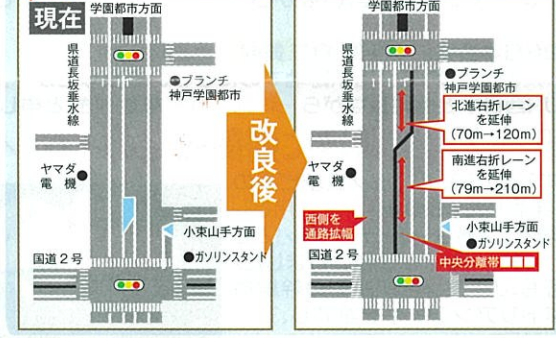


この都市計画道路は道路幅員もほぼ同じ一本の南北道路なのですが、何故か? 南側を生活幹線道路、北側を主要幹線道路に位置づけ北側から整備する計画に、「子供たちの安全が後回しにされている」と地元の方から相談を受け、建設局へ掛け合いました。

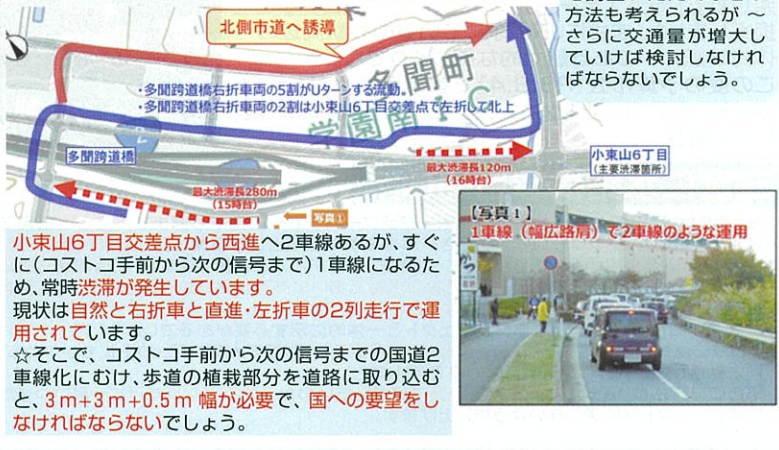


都市局都市計画道路整備は国からの補助 建設局道路拡幅整備は神戸市単独予算
カーブに接する蔵を撤去
2021年3月末 南北道路東側仮舗装
道路拡幅を約1m~1.5m
歩道幅を最終2.5m
2021年夏頃 アスファルト舗装
歩道用ガードパイプ
スツール設置
このように、難所が改善されたことは地元・有志の積極的な協力によるものでありご報告申し上げます。

小東山6丁目交差点



右折レーンの延伸やブランチ前交差点右折信号の秒数延長など、垂水建設局の道路改良工事や垂水警察署の信号調整により、小東山6丁目交差点付近の南北道路渋滞はかなり解消されましたが、まだ小東山6丁目交差点の東側から右折北進する信号待ちの渋滞が残り、右折信号では2~3回待ちの状況です。改善には中央分離帯を右折用として改良し、2車線右折にする。信号サイクルを調整いただくなどの方法も考えられるが~さらに交通量が増大していけば検討しなければなりません。



小東山6丁目交差点から西進へ2車線あるが、すぐに(コスト手前)から次の信号まで1車線になるため、常時渋滞が発生しています。現状は自然と右折車と直進・左折車の2列走行で運用されています。☆そこで、コスト手前からの信号までの国道2車線化にむけ、歩道の植栽部分を道路に取り込むと、3m+3m+0.5m幅が必要で、国への要望をしなければなりません。